

当社が展示設計制作を担当した

日本科学未来館 常設展示「未読の宇宙」が 世界三大デザイン賞「iF Design Award 2026」を受賞

株式会社トータルメディア開発研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山村 健一郎）が展示設計制作を担当した日本科学未来館の常設展示「未読の宇宙」が、世界で最も権威あるデザイン賞の一つである「iF Design Award 2026」を受賞したことをお知らせいたします。

本プロジェクトは、日本空間デザイン賞 2025（ShortList 入選）、2025 年度グッドデザイン賞、第 59 回日本サインデザイン賞（入選）、東京 ADC 賞 2025（入選）に続く、国際的な評価の獲得となります。



日本科学未来館 常設展示「未読の宇宙」

「未読の宇宙」は、2025年4月に日本科学未来館に誕生した常設展示で、人間の目では捉えることができない粒子や波動を、想像を超えるスケールの装置を駆使して観測・実験し、宇宙を読み解こうとしている科学者たちの研究について知ることができる展示です。

多波長観測、重力波観測、ニュートリノ観測、粒子加速器実験の4つの展示装置には、それぞれの専門の研究者からビデオ電話がかかって来る演出を導入し、一緒に観測をしているような体験を通して、マルチメッセンジャー天文学や素粒子物理学の最前線に触れることができます。

「現代のアテナイの学堂」をイメージした展示空間は、再生コルク材の楕円形ベンチの頭上に実際の観測・実験のデータをもとに制作した映像を映し出す360度大型スクリーンを配し、宇宙の多様なデータを浴びながら語り合える場をデザインしています。

【受賞概要】

受賞名： iF Design Award 2026

受賞対象： 日本科学未来館「未読の宇宙」

所在地： 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社トータルメディア開発研究所 広報チーム／熊木・鷺田

■Tel：03-3221-5558（大代表） ■Mail：Kaihatsukenkyu@totalmedia.co.jp